

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロワイヤル東今宿 II 番館 新	階数	地上14F
建設地	兵庫県姫路市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、法第22条区域	平均居住人員	201 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年2月26日
敷地面積	1,719 m ²	作成者	
建築面積	505 m ²	確認日	2024年2月26日
延床面積	4,641 m ²	確認者	

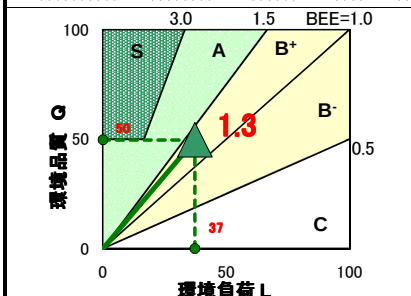
外観/バース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

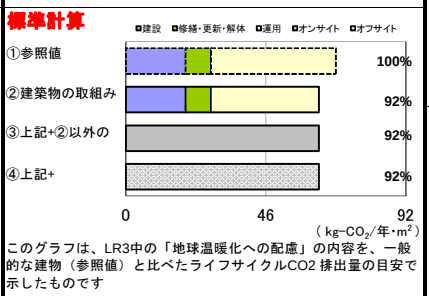
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.3

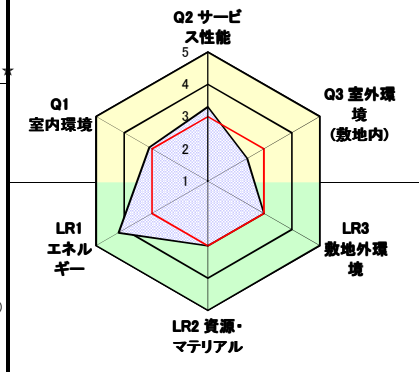
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

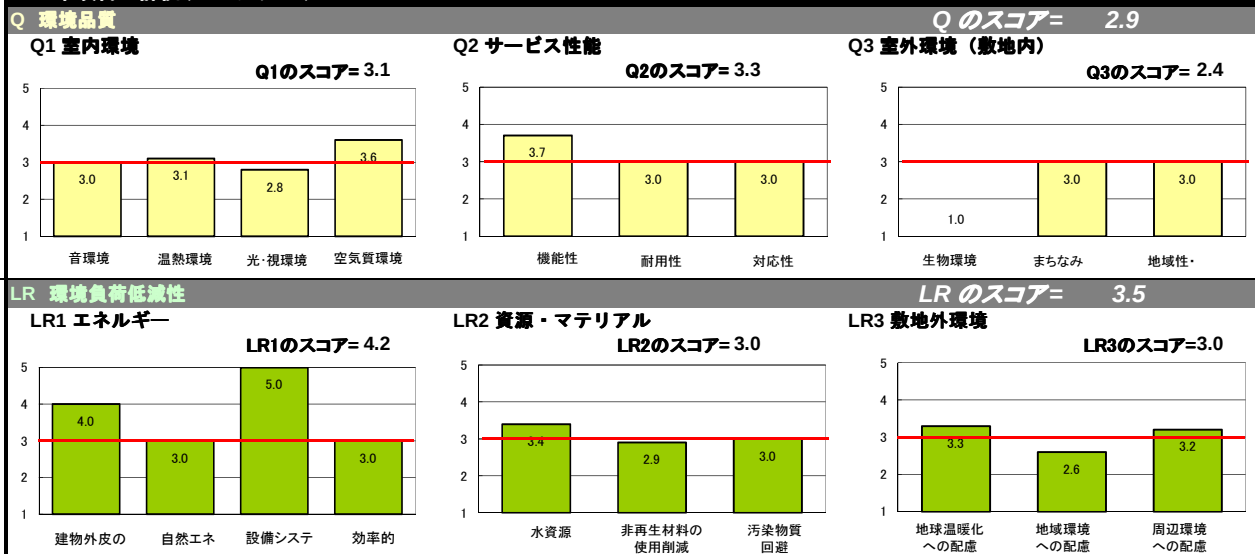
30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
○比較的大きな専用面積住戸で構成している。 ○構造的にシンプルな形状 ○1Fに駐車スペースを可能な限り配置		ZEHを意識して設計を行った。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
○サッシは複層ガラスを採用し、一次エネルギー消費量の削減に努めた。	○「建築基準法」、「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる 特定建築物の建築の促進に関する法律」を基準とした標準的なサービス性能設定とした。	○周辺のまちなみや景観・地域性・アメニティについて標準的な配慮を行った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
○コージェネレーションシステムによる、廃熱での給湯体制を整えた。	○標準的な資源利用としている。	○建物用途が集合住宅のみであるため、大気汚染・騒音等敷地外への影響は比較的小さい。 ○道路に面する敷地内に緑を設けている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される